

古賀市男女共同参画輝きKogaネットたより

ぴ か ☆ イ チ

男女共同参画フォーラム2018を開催しました①

Vol.01

2018年07月発行

古賀BGバンドのミニコンサート

リーパスプラザ交流館多目的ホールにBGバンドの元気な演奏と歌声が響き渡り、フォーラムの開始を告げました。参加者の多くの方に「元気な演奏で会場の気持ちがひとつになってよかった」「大変よかった」など感想をいただきました。



古賀BGバンドのみなさん

男女共同参画に関する

標語(一行詩)最優秀賞決定

最優秀賞

〔小学校低学年部門〕

◆さん画がわたしの家そくを丸くする。

古賀東小学校 吉住百華

〔小学校高学年部門〕

◆男子も女子も同じようにチャレンジできる

多くの学校。

花鶴小学校 月山三太

〔中学生部門〕

◆手伝った その言葉が 母まかせ

古賀東中学校 崎山春花

〔高等学校部門〕

◆みとめる、つなげる、社会と男女の輪。

古賀特別支援学校高等部 武田美羽

〔一般部門〕

◆家族みんなの 家事参画は

学ふこと多く 長寿社会の役に立つ

一般 井野口寛人

※所属は平成30年3月現在



右から井野口寛人さん、武田美羽さん、中村市長、崎山春花さん、月山三太さん

男女共同参画表彰「輝き☆KOGAびと」受賞者決定

【企業賞】 株式会社 西部技研

平成30年5月、本社内に企業保育所を開所し、女性職員のライフイベントに伴う離職対策や子育て環境の改善に取り組み、男女共同参画社会の実現に寄与している。

【団体賞】 古賀市少年の船の会

性別にかかわらず、交流を深めることで、将来のリーダー育成、女性活躍に取り組み、男女共同参画の意識や女性リーダーの育成に寄与している。



右から古賀市少年の船の会副会長高橋毅さん、中村市長、株式会社西部技研代表取締役社長隈扶三郎さん

講演

「笑顔で介護！介護で笑顔！みんなで介護を考えよう！」

講師に兵庫県西宮市で高齢者、介護者、介護従事者らの交流の場を提供し、「笑顔で介護！介護で笑顔！」を実践されている丸尾多重子さんをお招きし、自身の介護体験、交流の場である「つどい場さくらちゃん」の活動についてのお話を中心にご講演いただきました。

つどい場とは・・・

- ◆ 一人では生きていゆけないのが“ひと”。特に障がいを抱えて生きるひと、高齢者には、身近な家族・仕事で関わる人・地域の人たちのサポートが不可欠。
- ◆ 本人、介護者、介護従事者、医療者、行政、学生、地域活動者、子育て中のママ等誰でもが集える場・しゃべれる場・泣ける場・笑える場・食べる場・情報を得られる場、学べる場、共に出かける場、生きる場・・・それがつどい場。



講師：丸尾多重子さん

家族の介護

- ◆ 「阪神淡路大震災」をはさみ10年間で母（肺癌術後転移）、兄（長年の躁鬱→自死）、父（脳梗塞認知症→誤嚥性肺炎）を在宅で看取る。
- ◆ 「自分に知識と人をつなげる力があれば、父も母もあんな苦しい最後にはならなかった」と悔しかった。
- ◆ 父の死後、放心状態が半年続き、一念発起し1級ヘルパー講座を受講。
- ◆ ヘルパー講座で、泣き叫ぶおばあちゃんがストレッチャーで固定され、ホースでお湯をかけられる「機械浴」での入浴介助にキレル。
- ◆ 「つどい場をつくらなアカン！」

つどい場さくらちゃん

- ◆ 介護家族としての体験から、4つの柱を核として活動している。
 - ①つどい場：立場を越えていろんな人達がお昼ご飯を食べながら、感情の吐露と情報交換をする
 - ②おでかけタイ：からだやところが不自由になってもサポートするものがあれば、街に旅行に出かける
 - ③学びタイ：共に介護技術・制度のこと、医療のこと・ところを学び合う
 - ④見守りタイ：話を聞く・そばにひとがいることが介護予防につながる。
- ◆ 西宮市には、現在14か所のつどい場が誕生し、「笑顔で介護！介護で笑顔！」を実践している。

参加者感想

マルちゃんのお話で、私の介護生活はまだまだだと実感しました。介護する人が賢くならんといかん、その通りです。お店につれて行く、旅行にも行く、出来ない事はない、つどい場は素晴らしいです。介護で人生が豊かに。

自分自身も高齢の両親の介護経験があったため、とても共感できる話だった。また、自分の職におきかえて、生かせるものがたくさんあった。ぜひ、人を巻き込んでいける学校づくりのヒントにしていきたい。